

文学講座

主催 岡山市・岡山市文学賞運営委員会  
岡山市立幸町図書館  
協力 岡山市立大元公民館  
岡山市立操山公民館

# 源氏物語を 楽しむ

令和6年の大河ドラマの題材になった「源氏物語」は  
千年もの間読み継がれている古典文学です。  
ノートルダム清心女子大学中井賢一先生を講師にお迎えし  
「源氏物語の予言」をテーマに  
お話しいたします。

講師 中井賢一先生

ノートルダム清心女子大学教授

日時：令和7年 2月22日(土)

午前10時30分～12時

場所：岡山市立幸町図書館 3階 研修室

定員：40名

受付：2月5日(水)10時より(先着順)

幸町図書館へ電話(086-234-5188)か来館時に申し込みください。

きりとりせん

## 館内展示

協力 大元公民館 漢字書道クラブ  
操山公民館 実用かな書道クラブ  
源氏物語書道展

聴講料無料  
要申し込み

「源氏物語を楽しむ」申込書

お名前(ふりがな) \_\_\_\_\_ お電話 \_\_\_\_\_

※文学創造都市岡山、幸町図書館のホームページ・SNSに講座の様子を掲載する場合があります。掲載不可の方はお申し出ください。

## 中井賢一先生ご紹介

ノートルダム清心女子大学 文学部日本語日本文学科教授。文学博士。  
大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了。教科教育学、初等中等  
教育学、日本文学を研究されておられます。

ご著書に『物語展開と人物造型の論理：源氏物語〈二層〉構造論』新  
典社/刊(2017年)

主な論文に、「夕霧〈不在〉の論理—夕霧の機能と物語の〈二層〉構造  
—」(『国語国文』第74巻第10号,2005年10月)

「夕霧〈太政大臣予言〉の論理—〈夕霧権力体制〉の誤算と物語の〈二層〉  
構造—」(『国語国文』第76巻第6号,2007年6月)

「『源氏物語』明石中宮論—明石中宮の機能と権力機構としての字治—」  
(『中古文学』第91号,2013年5月)

「『山路の露』転換の論理—方法としての喧騒と決定者としての薫—」(『中  
古文学』第104号,2019年,11月)

などがあります。

### ■申込み・問い合わせ先 岡山市立幸町図書館

TEL (086) 234-5188

FAX (086) 234-5189

〒700-0903 岡山市北区幸町10-16

※公共交通機関等でお越しください。

(施設駐車場は行事の時間を含めて1時間まで  
です。近隣に民営の有料駐車場があります。)

JR岡山駅より南東方向へ約900メートル  
(徒歩約13分)

バスでは、「源吉兆庵本社前・イオンモール  
岡山前」(両備・岡電・下電・中鉄)、「柳町  
一丁目」(岡電)、「両備前」(岡電)が最寄り  
です。

